

[果樹部門 平成29年度 指導参考資料]

事項名	りんご害虫ヒメボクトウのエアゾル剤による防除法		
ねらい	りんごの枝幹内部を加害するヒメボクトウ幼虫に対するエアゾル剤の効果を検討したところ、実用性が確認されたので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 防除法 被害部のフラス（糞や木屑）を取り除き、フェンプロパトリンエアゾル（ロビンフード）またはペルメトリンエアゾル（園芸用キンチョールE）のノズルを差し込んで逆流するまで噴射する。なお、噴射時に逆流した薬液が果実等にかからないよう注意する。</p> <p>2 フェンプロパトリンエアゾル（ロビンフード）の概要 (1) 薬剤名等 ア 一般名：フェンプロパトリンエアゾル イ 商品名：ロビンフード ウ 有効成分：フェンプロパトリン0.02% エ 人畜毒性：普通物 (2) 使用基準（りんご） ア 適用害虫：ヒメボクトウ、カミキリムシ類 イ 使用時期：収穫前日まで ウ 使用方法：樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 エ 使用回数：2回以内 オ フェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数：4回以内（散布は2回以内、噴射は2回以内）</p> <p>3 ペルメトリンエアゾル（園芸用キンチョールE）の概要 (1) 薬剤名等 ア 一般名：ペルメトリンエアゾル イ 商品名：園芸用キンチョールE ウ 有効成分：ペルメトリン0.2% エ 人畜毒性：普通物 (2) 使用基準（りんご） ア 適用害虫：ヒメボクトウ イ 使用時期：収穫後から摘果期まで ウ 使用方法： 【専用ノズルつけかえ方式】容器のボタンを引き抜き、専用ノズルにつけかえ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。 【2ウェイノズル方式】折り畳まれた専用ノズルを引き上げ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。 エ 使用回数：2回以内 オ ペルメトリンを含む農薬の総使用回数：4回以内（散布は2回以内、噴射は2回以内）</p>		
期待される効果	殺虫剤の散布では防除できない枝幹内部のヒメボクトウ幼虫を殺虫でき、被害を軽減することができるとともに、本種の発生密度の低下を図ることができる。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成28年12月13日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用すること。 「農薬情報」(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/) 「農薬登録情報提供システム」(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用すること。</p>		
問い合わせ先（電話番号）	りんご研究所 病虫部（0172-52-2331）	対象地域及び経営体	県下全域のりんご作経営体
発表文献等	<p>平成27年度 試験研究成績概要集（りんご）（りんご研究所）</p> <p>平成27年度 新農薬実用化試験成績書（寒冷地果樹）（日本植物防疫協会）</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 ロビンフッドのヒメボクトウ幼虫に対する防除効果 (平成27年 青森りんご研)

薬 剤 名	樹No.	木屑・虫糞乾燥重 (g)			
		5月20日	5月26日	6月5日	6月12日
ロビンフッド	I	0.27	<u>0.46</u>	0	0
	II	0.30	<u>0.10</u>	0	0
	III	0.39	0.33	<u>0.40</u>	0
	IV	0.92	1.31	<u>0.64</u>	0
	V	0.16	0.90	<u>0.80</u>	0
	VI	1.01	0.40	<u>1.02</u>	0
	VII	0.19	0.08	<u>0.09</u>	0
	VIII	-	-	<u>0.47</u>	0

(注) 五所川原市羽野木沢の現地りんご園 (マルバカイドウ台成木) で試験を実施。被害部のすべての排出孔の木屑・虫糞を採取し、乾燥重量を電子天秤で測定した。樹No. I と II は5月26日、樹No. III～VIII は6月5日に薬剤処理を行った。排出されている木屑等を除去した後、ノズルを差し込み、他の排出孔から薬液が出てくるまで数秒～10秒間程度薬液を噴射した。下線は薬剤処理日。

表2 園芸用キンチョールEのヒメボクトウ幼虫に対する防除効果 (平成27年 青森りんご研)

薬 剤 名	樹No.	木屑・虫糞乾燥重 (g)				
		5月20日	5月26日	6月5日	6月12日	6月25日
園芸用キンチョールE	I	0.56	<u>0.61</u>	0	0	0
	II	0.39	<u>0.20</u>	0	0	0
	III	2.54	<u>0.74</u>	0	0	0
	IV	0.63	<u>0.59</u>	0	0	0
	V	0.13	<u>0.15</u>	0	0	0
	VI	1.29	<u>1.82</u>	0	0	0
	VII	0.51	0.16	<u>0.90</u>	0	0
	VIII	0.21	0.44	<u>0.97</u>	0	0
	IX	-	0.62	<u>0.91</u>	0	0
	X	-	0.43	<u>0.53</u>	0	0
	XI	-	0.50	<u>0.29</u>	0	0
	XII	-	0.88	<u>0.99</u>	0	0
	XIII	-	0.46	<u>0.34</u>	<u>0.17</u>	0
	XIV	-	-	<u>0.11</u>	<u>0.64</u>	0

(注) 五所川原市持子沢の現地りんご園 (マルバカイドウ台成木) で試験を実施。被害部のすべての排出孔の木屑・虫糞を採取し、乾燥重量を電子天秤で測定した。樹No. I～VI は5月26日、樹No. VII～XII は6月5日に薬剤処理を行った。樹No. XIIIとXIVは6月5日と6月12日の2回処理を行った。排出されている木屑等を除去した後、ノズルを差し込み、他の排出孔から薬液が出てくるまで数秒～10秒間程度薬液を噴射した。下線は薬剤処理日。

(参考価格) 480ml缶で1,987円(ロビンフッド)、420ml缶で1,300円(園芸用キンチョールE)(税込み)